



本年4月、福井工業大学の第11代学長に掛下知行学長が就任しました。

その掛下学長がキャンパスを飛び出し、「人材育成教育」「産学連携」「地方創生」

などをテーマに、各界のゲストとクロストークを展開。

ゲストと共に、若者、地域へ熱いメッセージを贈ります。

写真：前田工織株式会社 ショールーム



産学連携での
人材育成を
進めたいと思います。

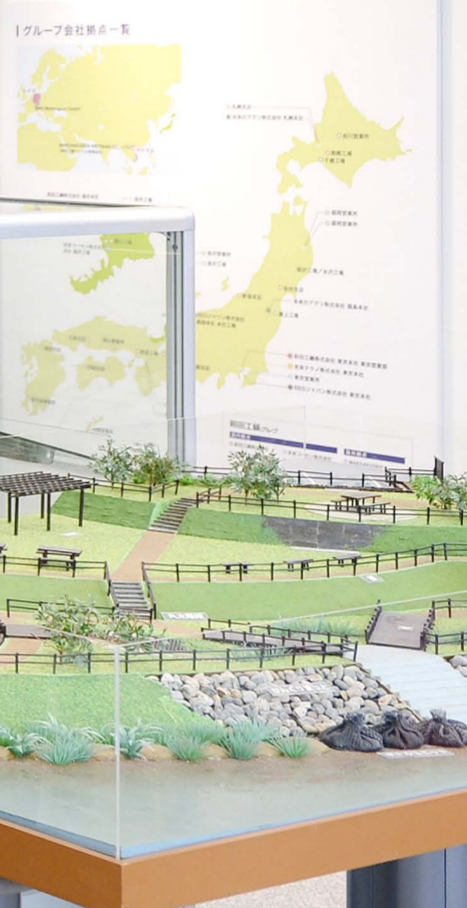
福井工業大学
学長
掛下知行

企業と大学が
相互乗り入れし、
人材育成を。

前田工織株式会社
代表取締役会長
兼 CEO
前田征利氏



前田工織株式会社



前田工織株式会社は日本全国、アジア、欧米を拠点に、ソーシャル・インフラをはじめ産業資材、自動車用ホイールなどの事業でインベティブな技術開発を展開しています。その先頭に立っているのが、会長兼CEOである前田征利氏。

企業と大学が相互乗り入れし、人材育成を活性化させる。今回は前田征利氏をゲストに招き、東証一部上場企業に育て上げました。今回は前田征利氏をゲストに招き、企業と大学が連携した人材育成、さらに地方創生について話し合いました。

前田 福井工業大学の卒業生たちが、前田工織グループの社員としてお世話になっており、ありがたうございます。前田会長は大阪大学出身であり、私の先輩です。本日は、人と技術を「混ぜる」として成長を続けている、グループのリーダーである前田会長に、「企業と大学の連携」や「人材育成」についてお話をうかがいたいと思います。

掛下 福井工業大学の卒業生たちが、前田工織グループの社員としてお世話になっており、ありがたうございます。前田会長は大阪大学出身であり、私の先輩です。本日は、人と技術を「混ぜる」として成長を続けている、グループのリーダーである前田会長に、「企業と大学の連携」や「人材育成」についてお話をうかがいたいと思います。

前田 さらには、それを話ししたいと思っていました。企業と大学は、相互乗り入れして、人材育成に相互高めればよい。現在、弊社は社員教育の一環として、事業部門ごとの専門知識に加え、人としての生き方を説く「前田塾」を開いています。こうした教育を企業と大学の連携で実践していきたいですね。

掛下 リカレント教育事業は本大学も推進を検討しており、まさに前田会長のお話は、私たちの目指すところと一致しています。例えば前田工織グループの社員の方が「特命教授」という立場で教壇に立っていただくことは、学生たちの実践的な教育につながるでしょう。

前田 「女性活躍」という切り口も、人材育成のテーマになります。弊社グループの女性たちは優秀で、まだ少ないですが管理職に就いています。福井の強みである女性の活躍を、地域内の産学連携によりさらに後押しすることを目指します。

掛下 いずれも、本大学では、環境、食品、化学、デザイン、健康科学などを目指す女子学生が増えています。学生たちの大きな刺激になると思います。

福井から、1次産業、介護福祉の新たなモデルを。掛下 では産学連携のものづくりにテーマにしながら、お話しを

人材育成教育の役割は、社会貢献につながることに。

掛下 前田会長との対談では、産学連携による人材育成やものづくりについて、大きな力を得た思いがしました。では、福井の若者へメッセージをいただけますでしょうか。

前田 1次産業、ヘルスケアおよび介護福祉という社会的課題解決を見ずしてほしいという思いと共に、福井の若者には、特に海外へ出るなどの経験を積んでほしい。その経験は必ずや成長につながります。ふるさとを一度離れて再び戻るとは、人間としてもビジネスとしても大きな付加価値になるでしょう。

掛下 本大学には「海外インターンシップ」というプログラムがあります。主にアジアへ進出している県内企業にお邪魔するのですが、3週間の経験はとて貴重なものであり、学生の成長に大いに役立っています。今年には35人の学生が海外インターンシップを経験しており、帰国後には「英語をしっかりと身に付けた」と話すのを良く耳にします。自分の中に目標が生まれ、それが学びにつながっているように感じます。

前田 それは素晴らしいですね。企業でも上司が「英語を身に付けてほしい」と勧めて、なかなか学びは身につかない。自分の中で気づきや目標が生まれてこそ、学びは前進します。弊社グループもベトナムやドイツに拠点を設けていますので、ぜひ海外インターンシップのお手伝いをさせていただきます。

掛下 本大学の建学の精神は「悠久なる日本民族の歴史と伝統を重んじた愛国心を培い、節義を重んずる人格の育成、科学技術の研鑽に努め、以て人類社会の福祉に貢献すること」であり、社会への貢献は柱となるものです。前田会長からお話しいただいた、企業と大学との「相互乗り入れ」を力にさせていただきます。地域の課題解決に貢献する人材育成教育に取り組んでいきたいと思っています。

前田会長、本日はありがとうございました。

対談を終えて 弊社グループは人と技術を「混ぜる」企業体として、出会いを大切にしています。掛下学長とは母校のOB会でもお会いしましたが、とても真摯(しんしん)な方だと感じていました。そんなリーダーのもと、弊社グループと大学が「相互乗り入れ」しながら、ビジネスマンの生涯教育につながる「リカレント教育」をはじめ、学生さんたちの教育の場づくりに協力させていただきたいと思っています。

前田征利氏 まえだ・ゆきとし



前田工織株式会社 代表取締役会長兼CEO、大阪大学基礎工学部卒業。前田株式会社入社後、人間の機能工場として創業した前田機械工場に入社。従来の機械加工業から、繊維と土木を融合させた土木資材を開発・製造・販売する一貫メーカーに転換。1972年に前田工織株式会社を設立。代表取締役社長に就任。2007年東京証券取引所市場第二部に上場。2012年東京証券取引所市場第一部に指定。2014年代表取締役社長兼CEO、2016年9月より現職。福井県経産協会会長も務める。

掛下知行 かけた・ともゆき



福井工業大学学長、北海道生まれ。専門は材料物性。北海道大学理学部理学科卒業後、同大学院理学研究科修士課程修了。大阪大学大学院基礎工学部研究科博士後期課程中退。1993年同大学工学部助教授に就任。2000年同大学院教授となり、低温センター長、環境イノベーションデザインセンター長、教育研究協議員などを歴任。2011年同大学・大学院工学研究科 工学研究科長・工学部長に就く。日本金属学会会長も務めた。2018年4月から現職。

対談を終えて 今回は、前田会長から産学で連携して取り組む人材育成や産学づくりについて力強いお話しをうかがうことができ、絶好の機会となりました。前田工織グループさんは1000名もの社員を抱えておられますが、その社員の方をはじめ若い人材への教育の大切さを熱く語られたことが印象的でした。ぜひ本大学の研究機関を活用いただき、社員の方や学生を育む場を共につくっていききたいと思います。